

(メッセ海外通信 2010年10→12月号掲載記事)

～『メディカル・ツーリズム (医療観光)』が釜山の観光を後押し！～

下関市総合政策部国際課  
(釜山広域市派遣職員)  
植田 禎俊

現在、韓国では国を挙げて医療観光に力を入れています。特に釜山広域市は、国内外の方々が様々な医療処置を受けることが出来るように、最先端の設備と最新医療技術をもつ専門病院やメディカルストリートが設立されるなど、世界でも有数の医療観光都市に名乗りを上げています。これは、癌治療から簡単な手術に至るまで不安なく安全に行われ、医療処置で来られる方々が、医療から釜山の滞在に至るまで、全般において有意義で快適な経験をしていただくことを確固なものとしようとするものです。今年の夏には、1500億ウォンの資金を投じて、韓国で最先端の設備と治療技術を備えた癌治療を専門とする病院がオープンしました。9階建て、304病床を備える『原子力医学院 (Dongnam Inst. of Radiological and Medical Sciences)』は釜山広域市機張 (キジャン) 郡に位置し、甲状腺癌・乳癌・胃癌をはじめとする癌の治療等を行う6つの治療センターを運営しています。体のどの部分でも安全に治療を行えるように第4世代サイバーナイフを備え、2015年までには、癌治療のトップ技術といわれている重粒子線治療装置の導入も完了する予定です。また、癌を初期の段階で発見でき、一日単位で治療を管理できる健康促進センターも備えています。



最先端の医療設備



原子力医学院



メディカルストリート

この他、釜山には外国から来られる方々に最新設備と技術を備えた医療行為を提供することができる釜山大学病院など4つの大学病院に加え、総合病院28、病院215、韓方病院7、歯科病(医)院1,042、医院2,074、韓医院976等、約4,300の豊富な医療インフラがあります。特に、医療観光の魅力をさらに高めるために釜山の中心地である西面地区に設立中の『グローバル・ビューティー・メディカルストリート』は、美容整形やスキンケアを中心とした医療を特徴としており、2011年までの完成を目指しています。この地区では美容整形後に人々がどのようなようになるかを確認でき、またクリニックの代表者等から美容整形について学べるサービスがあります。現状では、外国の方向けのデザインを施した156の高品質な医療センターと病院があり、日本語、英語、中国語、ロシア語の通訳が可能なスタッフも配置しているので、外国の方でも容易に医療サービスを受けることができます。

また、釜山広域市には釜山医療情報観光情報センターや、外国人患者が利用できる通訳サービスコール（応急医療情報センター：1339番）もあり、それに加えて訪問者が医療情報をオンラインで簡単に入手できるようにメディカル・ツーリズムウェブサイト（[www.bsmeditour.go.kr](http://www.bsmeditour.go.kr)）も立ち上げました。サイトの情報は、様々な言語で、釜山の医療治療環境や医療施設について提供されていますので、是非、ご覧いただければと思います。